

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】環境マネジメント規格が取得できるよう努力したい。			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HPなどに取り組みを公開できるようにする。												12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】再生可能エネルギーの利用について検討する。							7.2							13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	農産物の残渣の耕地へのすきこみなどによる循環に配慮した営農、減農薬、有機肥料の使用等による生産に配慮した地元農産物を利用している。												12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	規則を設けるべくもなく、悪いこと公正では無いことは人道上受け入れられないことは十分社員は承知している。																	16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	無理な価格交渉には応じないようにしている。																		16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	商標登録等の参照をし、他者の権利を侵害しないようにしている。自社の商標や製造法については保護管理に注意している。									8.2	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社員・顧客の個人情報は適切に管理し、取引先顧客情報については定期的に紙媒体・電子媒体とも適切に廃棄処分をしている。																			16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	該当なし(製造商品にそれらを原料としないので)																			16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先との認識の共有をし、人権、環境等の問題に共に取り組むようにしていきたい。					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理体制を心掛けている。外部機関による衛生指導を年2回受けている。			3.9										12.4					
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理体制を心掛けている。顧客からのクレームの真摯な対応を心掛けている。必要に応じて外部機関による検査等を行っている。										9									
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	できうる限り、合成調味料等を使わない商品の開発に心掛けている。						6							12	13	14	15			
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	地域住民が高齢となっても何らかの仕事に携われるような仕事の創出に務めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	山間小村にある企業として、地元農産物の活用、地元住民の採用等に配慮している。村内行事等に積極的に協力している。				4						9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	会社としては学校教育での食育などの支援をしている。社員個人のボランティア活動による休業等に対応している。				4								11			14	15		17		
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外販）している	チャレンジ	長年地元の契約農家の野菜を原料にしている。村内いちご組合の規格外品の利用や伝統野菜の利用開発に務めている。										8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	経営者が核となる理念を持ち、目標等を部門ごとに社員に説明し共有を図っている。										8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	毎朝のミーティングや、随時の会話により法令遵守の重要について認識を共有している。																			16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	専門の担当という定義はないが、必要に応じて経営者、社員が対応している。																			16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適宜適切に状況の把握認識をし適切な対応を図っている。																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理、定期的な細菌検査の実施などの製造面のリスク管理をしている。 PCのセキュリティソフトによる情報流出の対策をしている。																				16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	取り組んでいるつもりである。																				16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】将来的に立案したい。											9		11			13 13.1			16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】要検討中である。										8	9								17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）